



巻頭言

「植物防疫」が大きく変わります

一般社団法人日本植物防疫協会理事長 うえ 上 じ 路 まさ 雅 こ 子

新年明けましておめでとうございます。

平素より本誌をご愛読いただき誠に有り難うございます。

月刊「植物防疫」が創刊72年目を迎えました。本誌は、永年にわたり、植物防疫に携わる多くの皆様に植物防疫に係わる専門分野の技術情報を提供してまいりました。今後も、読者にとって今まで以上に身近な存在と感じていただき、また、全国の研究者、指導者等に実践的に役立つ情報の発信媒体としての機能を高め、植物防疫分野の総合情報誌を刊行していくことが、当協会の使命であると考えております。

このような認識のもと、昨年来、幅広いジャンルを網羅する編集方針、積極的な寄稿を促す掲載規程、それらを実現するための企画審査体制の見直しを行う等、本誌の抜本的な刷新に向けた取り組みを進めてまいりました。既に、関係者から研究報告・総説や調査報告等積極的なご寄稿もいただいております。誠にありがとうございます。

さらに、本号（Vol.72,1）より、本誌の体裁をA4判フルカラーに一新いたしました。写真や図表もカラー刷りで本文中に配置するとともに、文字もやや大きくなって、読者の皆様には、読みやすく親近感がもてる「植物防疫」に変わったと評価していただけるものと思います。一方、執筆者の方々にも、カラー刷りになることで、これまで以上に執筆内容をアピールしやすいと積極的にご執筆していただけるのではないかと考えております。なお、毎号の表紙は掲載記事に関連する各種の病害虫等の写真も予定しており、関係者から一層の興味を抱いていただける魅力ある誌面作りに努力していく所存です。ご期待ください。

また、本誌内容に関する新たな取り組みとして、毎月定期的に「植物防疫講座」を連載することに致しました。病害編、虫害編、農薬編から構成され、各分野に関係する第一線の専門の方々にご執筆していただきます。教科書としても活用しうる内容とし、全国の植物防疫関係者はもとより、これから植物防疫を学んでいこうとする読者層にも、広範な知識や多様な技術の蓄積を可能とする充実した内容になることを目指します。

年頭にあたり、「植物防疫」が大きく変わったことをご紹介いたしました。これからも、本誌を総合的な技術情報媒体としてご活用いただくとともに、積極的なご寄稿と継続的なご愛読をお願い申し上げます。